

YOKOSHIN NEWS

平成27年 1月5日
横浜信用金庫

《よこしん》景気動向調査結果について

－平成26年10～12月期実績、平成27年1～3月期予想－

横浜信用金庫(理事長 大前 茂)では、定例(四半期)の「景気動向調査」を実施いたしました。調査結果の概要は以下のとおりです。

【業況判断DI】業況は足踏み状態、来期はマイナスに転じる見込み

- 今期(平成26年10～12月期)の業況判断DIは、前期と変わらず0.0となった。来期は、今期より1.2ポイント低下の-1.2と、悪化を見込んでいる。
- 製造業の今期業況判断DIは前期比3.2ポイント低下の3.2となった。来期は、今期より2.0ポイント上昇の5.2と、改善を見込んでいる。
- 非製造業の今期業況判断DIは前期比1.6ポイント上昇の-1.6となった。建設業が15.5ポイント上昇の25.6に対して、小売業は1.2ポイント低下の-17.0となった。

【特別調査】「平成27年の経営見通し」

- 日本の景気見通しは「普通」46.4%、次いで「やや悪い」32.8%
- 平成27年の自社の業況は「普通」が過半数 56.0%
- 平成27年の売上額の伸び率は「変わらない」が最多回答 47.0%
- 業況が上向く転換点「改善の見通しは立たない」が最多回答 27.5%
- 消費増税の影響「あまり影響を受けなかった」が最多回答42.5%、
10%引き上げ時には懸念

<調査概要>

調査対象:当金庫取引先(法人・個人事業者)774先 有効回答数:755先
調査方法:各営業店職員による聞き取り調査 調査時期:平成26年12月上旬

その他詳細につきましては、「《よこしん》HP⇒法人のお客さま⇒景気動向調査」をご覧ください。



横浜信用金庫